

新たな病床配分方法（案）に関する意見交換内容《構想区域別》

	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部
特例配分方法に関する意見	—	・大規模災害があれば、災害拠点・拠点連携は足りない。このような提案はいいこと ・災害時には災害拠点・拠点連携以外の病院も診ないといけない。災害対応を行う病院全部を対象とすべきじゃないか。	—	—	・基準病床が医療計画の施策と連動するのはある意味で画期的 ・各区の傾斜配分は難しいので均等配分はやむを得ない。 ・調整会議での議論があって、配分に至ると思うので、会議との関連を示すべき ・災害拠点、拠点連携を優先すると、二次救急以上となり急性期が増えるが、地域医療構想に見合うのか。 →回復期が足りないという話になりがちだが、回復期を提供している病院が、急性期を名乗る病院に内在されているのが事実。地域で災害の機能が重要かという視点で見ればよいのではないか。	・災害医療という観点はありがたい。東京湾北部地震の想定では、病床当たりの負傷者への対応数が圏域全体で大きく、災害対応力の向上が必要 ・女子医東が今後移転すると荒川区に災害拠点病院がなくなる。新病院が災害拠点病院の認定を受けられるよう上限に配慮が欲しい。
災害対策に関する意見	—	・台風の際、病院の機能が無事でも、人員確保の問題に直面した。医療従事者を優先運搬するルールが公的に必要ではないか。	・病院と診療所が得意分野を生かした災害医療体制を作るのが必要。	・災害に備えて既存の病床のケースごとの使い方に関するルールを作った方がよいのではないか。	・地域の災害医療は災害拠点が中心となるが、診療所、地域の病院、行政が一体になってやっていくことが大事	・水害に向けた設備も必要では→浸水対策も見直していく。長期停電や浸水に備えて防水設備等へのハードの補助事業を実施している。
質問	・病床の原資はどこから来るか。 →病床不足地域が対象 ・優先配分とは再配分か。 →新たな病床配分 ・災害医療機能とは、病床を使わずに空けておくものか。 →通常の病床のこと。災害拠点や拠点連携の枠組の中で災害医療機能を高める病院に優先配分をするという提案	・災害医療機能とは、病床を使わずに空けておくものか。 →通常の病床のこと。災害拠点や拠点連携の枠組の中で災害医療機能を高める病院に優先配分をするという提案	・区のハザードマップで危険度が高いところで台風被害があった。病院を建てる場所に指定はあるのか。 →現行の法令ではできない。 ・十分な申請期間を取って欲しい。 ・災害拠点や拠点連携を目指せば何でも病床を受けられるのか。 →地域ごとに災害医療の必要性は判断することになる。	・基準病床の枠外で配分を受けられるのか。 →あくまで基準病床の枠内で配分可能数がある場合のみ	—	—

	区東部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部
特例配分方法に関する意見	—	—	—	—	・病床過剰地域だが、流入や救急車の受け入れも加味してほしい。 ・災害での特例配分は地元の救急を受ける中小病院に焦点を当てている。 ・災害が起きなかったら急性期をやることになる。救急の方が重要 ・大きな救急病院と、そうではない病院とで、違った配分ができるといい。	—
災害対策に関する意見	・災害対策については、施設、設備への補助が重要 →災害拠点、拠点連携への補助も含めた体制整備の検討中。災害拠点には、概ね200床以上という条件もある。トータルで検討中	—	・DMATやJMATなど人的な部分が大事ではないか。 →災害拠点、拠点連携、支援病院それぞれの役割を再検討している。浸水対策や人的支援も検討中。病床の話も加えてトータルでやっていく。	—	・災害医療は、病床だけの話ではない。	—
質問	—	—	—	—	・既存の病床数に上乘せするのか。 →既存の基準病床の中で配分可能数がある場合が対象。	・災害に必要な病床のイメージが付きにくい。 →すべての病院が災害に対応できるというというのが本音だがそれは無理。少しでも多くできたらいいというのが趣旨